

## 議事録

### さいたま市立土合中学校 第1回 学校運営協議会

1 日 時 令和7年5月30日（金）10時00分～11時40分

2 場 所 土合中学校 第一会議室

3 参加者 学校運営協議会委員 9名

#### 《出席》

田辺 雄一 様 (青少年育成中島地区会会長)  
山崎 和美 様 (青少年育成栄和地区会副会長)  
向井 義博 様 (青少年育成土合地区会会長・西堀連合自治会会长)  
松田 奈津子 様 (本校PTA会長)  
澤本 沙苗 様 (本校PTA副会長)  
清水 一司 (本校校長)  
沼 良 (本校教頭)  
船水 光加 (本校教頭)  
中内 則之 (本校学校地域連携コーディネーター)

#### 《欠席》

島崎 富夫 様 (道場第三自治会長 さいたま浦和地区保護司会 保護司)  
高橋 周一 様 (中島小校長)  
佐藤 拓哉 (本校教務主任)

4 内容

#### ※委嘱状・任命書交付

(1) 校長あいさつ さいたま市立土合中学校 清水 一司

(2) 学校運営協議会委員 自己紹介

(3) 委員長・副委員長選出

委員長 田辺 雄一 様 副委員長 向井 義博 様

(4) 本校の教育活動について (校長)

委員長

- ・教職員同士の研修等の実施等お願いしたい。
- ・Well-beingについて、土合中ではWell-beingをわかりやすく「学校に居場所がある」ととらえるという認識でよいか。

向井委員

- ・細かく計画をいただきありがたい。全国学調の数値については、自校の学力学習状況のアセスメントに活用することが望ましい。

- ・ I C Tは教育に効果的な場面で活用することが望ましい。

- ・働き方改革についての実態はいかがか。

(校長) 月4~5時間以上を極端に上回る人は少ない。働き方改革にデジタルの有意性を生かしていく。ICTを活用した学習指導については、デジタルとアナログとのベストミックスを探りながら工夫改善を進めていく。

## (5) 協議

### (1) 通学路の安全について

松田委員

- ・完全下校時刻と休日の帰宅時間があつてない。土日の部活動でかなり遅く帰宅することがある。

(校長) 生徒の安全が第一。土日の部活動練習時間は、体育館の使用がローテーションとなるため変則になる。事前に保護者へ連絡するように指導する。

向井委員

- ・育成会パトロールは校庭内も見回っている。

委員長

- ・学区内の各場所において自治会の目や街灯等の必要性を言い続けることが必要。栄和の事件は、自治会が協力し、心のケア等に当たることも必要だったのではないか。
- ・地域住民の関係も、希薄化が進んでいることも課題として考えている。

### (2) 部活動の地域展開について

向井委員

- ・地域展開になった場合、保護者の負担はどのようになるのか。

(校長) 3年間は公費となるが、それ以降は受益者負担となると聞いている。

- ・教員が部活動指導を行うと教育的配慮があると考えるが、外部指導となると勝利至上主義となるのではないか。

(校長) その点は懸念している。教育委員会では、指導者対象の研修会を実施すると聞いている。

委員長

- ・地域展開は、教員の働き方改革の一つと認識している。外部指導が休日のみとなると、複数の指導者が指導に当たることになり、生徒は困惑するのではないか。少子化で合同チームとなることもあります、指導者も複数となる。
- ・市の方針が固まらないと、運営も定まらないと考える。

(校長) 市の骨子を作成するために土合中学校が大規模校としてのモデル校として、成果と課題を検証していく。教員と外部指導者の連携は課題となることが想定される。

### (3) 生徒の声が反映される運営協議会について

委員長

- ・開かれた学校づくりには賛成であるが、大人の判断も時には必要となる。

松田委員

- ・昨年度体育着登校について話し合っていたが、進捗状況について知りたい。

(校長) 先日の生徒総会について提案をされていた。今後、生活のきまり委員会や職員会議等に諮り、平行して学校運営協議会の委員にもご意見をいただき決定していく予定である。

(6) 閉会

(7) 諸連絡

- ・第2回の開催日について